

世羅町立甲山中学校第3学年A組 国語科学習指導案

指導者：新宅 啓子

日時 平成25年10月11日(金) 第4校時(13:30~14:20)
 場所 3年A組教室(A棟2階)
 学年・学級 第3学年A組 23名(男子12名, 女子11名)

Research 教科に関する調査の設問別の分析

平成24年度「基礎・基本」定着状況調査 中学校国語 三 3 (3)

【出題の趣旨】
 文章の展開に即して登場人物の心情を的確にとらえることができる。

【学習指導要領の内容・領域】
 C 読むこと(第1学年)
 ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

3 次の(1)~(3)の問には、この文章を読んだ二人の生徒の会話が書かれています。あとの(1)~(3)の問に答えなさい。

上田 「この文章には、母親と離れておじいさんとともに生活することになった主人公『ぼく』とおじいさんと心の交流が、えがかれているね。」

木下 『ぼく』の気持ちの変化が読み取れるよね。おじいさんの真似をしてスイカに塩を振ったり、藍色の空を見たりしているうちに、母親と離れた「A」は薄れてしまったけれど、その後、『ぼく』は新たな不安に気づくよね。」

上田 「そうだね。『ぼく』は、おじいさんがずっと一人で暮らしてきたから、『ぼく』が迷惑ではないかと思ったんだよね。でも、おじいさんの返事を聞いてその不安は解消されたよね。」

木下 「そうだね。最後の場面では、おじいさんの吸った煙草の匂いを嗅ぎながら、『ぼく』は、II 感じるまでになつていくね。」

(1) 「A」にあてはまる最も適切な語を、文章中から四字でぬき出して書きなさい。

(2) 「I」にあてはまる最も適切な語を、次のア~エの中から選び、その記号を書きなさい。

ア 『ぼく』が水樽をねだったこと
 イ 『ぼく』が仏壇に手を合わせたいと思ったこと
 ウ 『ぼく』がここに題して来たこと
 エ 『ぼく』が新しい生活に慣れないこと

(3) 「II」には、『ぼく』の気持ちを表す言葉が入ります。あとの文に続くように、本文中の言葉を使って、二十文字以内で書きなさい。

	正答率
本校	65.1%
広島県	57.1%

解答類型	1○	2△	3△	4	5	6	7	左記以外	無解答
本校の割合(%)	44.2	20.9	0	23.3	0	0	0	11.6	0

この問題を解くために必要な力

- 文学的な文章において、登場人物の設定、登場人物同士の関係、あらすじをとらえる力。
- 文学的な文章において、場面の展開を的確にとらえ、登場人物の心情を表す表現に着目して、心情を読み取る力。
- 設問の意図を理解したうえで、必要な条件に従って、文章中の表現を根拠に自分の考えをまとめる力。

誤答分析

- 解答類型2について 20.9%
 - ・「新しい」ということには触れていないが、「肉親がいてくれるたのもしさ」という内容を、指定字数以内で文頭、文末に適切につなげて書いている。
 - 「肉親がいてくれることをとてたのもしく」「おじいさんがいてくれることをたのもしく」
- 解答類型4について 23.3%
 - ・「ぼく」が「たのもしさ」を感じていることはとらえており、「たのもしく」という意味の言葉を使って条件に従って書いているが、具体的な内容である「新しい肉親がいてくれること」について書いていない。
 - 「となりにいてくれることをたのもしく」「いてくれることをたのもしく」
- 解答類型9について 11.6%
 - ・心情が表れている文に着目してはいるが、「新しい肉親がいてくれること」のみ書いており、キーワードとなる心情を表す「たのもしく」という意味の言葉が書かれていない。
 - 「新しい肉親がとなりにいてくれることを」
 - ・心情が表れている表現をとらえて心情を読み取ることができておらず、文末も条件を満たすものになっていない。
 - 「ぼくがここに来ておじいさんは迷惑ではない」

Research 教科に関する調査の設問別の分析

平成 25 年度 全国学力・学習状況調査 国語 B 2 三

【出題の趣旨】
文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書くことができる。

【学習指導要領の内容・領域】
B 書くこと（第1学年）
ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

C 読むこと（第1学年）
オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。

三 この文章を読んで、あなたが感じたことや考えたことを、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 本文を引用して書くこと。引用する部分は、かぎかっこ（「 」）でくくること。

条件2 この文章について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

条件3 八十字以上、百字以内で書くこと。

	正答率
本校	88.1%
全国	65.7%

解答類型	10	2	3	4	左記以外	無解答
本校の割合 (%)	88.1	0	0	9.5	2.4	0

この問題を解くために必要な力

- 文学的な文章において、文章の展開に即して内容をとらえる力。
- 設問の意図を理解したうえで、必要な条件に従い、根拠を明確にして自分の考えを書く力。

誤答分析

- 解答類型1について 88.1%
 - 正答のうち11.9%は、本文を引用しながら指定字数で書いているが、感じたことや考えたことの実体性が弱い。
 - 「装置のおかげで生活が便利になったが、『一日に一つや二つは、たいてい故障をおこしている』とあるので、『なにが便利だ』と言っているエヌ氏の考えが、分からなくもなかった。」
 - 「この文章を読んで、『確かに便利だ。』というところから、ものすごく便利になったのだなあと思いました。逆に、『なにが便利だ。』というところからは便利になった分、不便にもなったんだなあと思いました。」（引用部分を繰り返して書いている。）
- 解答類型4について 9.5%
 - 字数条件を満たし、感じたことや考えたことを具体的に書いているが、引用する部分をかぎかっこ（「 」）でくくって本文を引用しながら書いている。
 - 「僕は、最初は装置が便利だと思っていたが後半のなにが便利だのところエヌ氏の気持ちが変わっていたところがおもしろかった。装置は便利かもしれないが、面倒なことも多く、頼りすぎではいけないと思う。」
 - 「装置を用いた生活は良いと思います。朝起きてから『朝食、歯をみがくとき、トイレのとき、電話のとき』など、さまざまな所でアドバイスや注意を受けているので、いつも健康な体を保つことができます。」（かぎかっこでくくっているが、本文をそのまま引用していない。）
- 解答類型9について 2.4%
 - 文章の内容を正しくとらえて、本文を引用しながら自分の感じたことや考えたことを具体的に書くことができていない。

単元名 「高瀬舟」～作品を批評しよう～（第3学年）

調査結果からみる課題

【課題となる力】

- 文学的な文章において、場面の展開を的確にとらえ、登場人物の心情を表す表現に着目して心情を読み取り、まとめる力。
- 設問の意図を理解したうえで、必要な条件に従い、根拠を明確にして自分の考えを書く力。

【指導上の課題】

- 場面の展開に沿って、登場人物の心情を表す表現に着目させ、心情をとらえてまとめさせる指導が不十分である。
- 根拠を明確にし、必要な条件に従って、自分の考えを文章にまとめさせる指導が不十分である。

指導改善のポイント

文章中の表現を根拠に、登場人物の心情を読み取り、自分の考えをまとめる。

【指導の工夫】

- (1) 登場人物の心情を表す表現に着目して読ませる。
- (2) 条件に従い、表現を根拠にして自分の考えをまとめさせる。
- (3) 意見を交流させ、考えを深めさせる。

◇「学習意欲」の向上

- 意欲をもって取り組めるよう、初発の感想等、生徒の疑問や意見からの課題設定や生徒実態にあった課題設定を行う。
- 小集団思考場面（ペア、グループ）を設定する。目的を明確にし、役割を決めて活動させる。

◇「課題となる学力」の定着

(1) 登場人物の心情を表す表現に着目して読ませる。

- どのような表現が登場人物の心情を表すかを考えさせ、登場人物の心情が表れている表現（直接的な心情表現や間接的な心情表現）に印を付けながら読ませる。

(2) 条件に従い、表現を根拠にして自分の考えをまとめさせる。

- 文章中の表現を根拠にして、次の3点について考えさせ、自分の考えをまとめさせる。
 - a 登場人物の心情や生き方について
 - b 立場を明確にして、「安楽死」の是非（喜助は有罪か無罪か）について
 - c 内容、構成や展開、表現の仕方などの視点から、作品のよさや価値について（批評文）
- 書き出しや字数等の条件を提示し、条件に従って自分の考えをまとめさせる。
- 書くことが苦手な生徒への支援として、フレームワークとなる表現形式の提示を行う。

(3) 意見を交流させ、考えを深めさせる。

- 自分の考えとその根拠となる表現を交流させる。交流により、他者の考えを知り、自己の考えと比較することで、考えを深めさせる。交流後、交流の内容を活かして再思考させ、深まった自分の考えをまとめさせる。
- 考えを拡大、焦点化させたり、思考をゆさぶったりするような補助発問を工夫し、個人思考場面の机間指導で把握した生徒の意見を意図的指名に活かして、思考を深めさせる。

単元について

本単元は、主として中学校学習指導要領第2章第1節国語〔第3学年〕C 読むこと(1)「ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。」「エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。」を受けて設定したものである。本単元でつきたい力は、「表現に着目して登場人物の心情や考え方・生き方を読み取り、人間や社会について考えを深め、根拠を明確にして自分の考えをまとめる力」である。

本教材「高瀬舟」は、明治時代の文豪、森鷗外の作品で、喜助によって提出された問題に対し、庄兵衛の自問や反応を通して、鷗外自身の考えを述べようとしたものである。その問題とは、「足ることを知る」（「知足」の思想）と「安楽死」の二点である。このことは、「高瀬舟」執筆の経緯を自身が述べた「附高瀬舟縁起」にも明らかである。喜助の罪人とは思えない様子を不思議に思った庄兵衛が、喜助に今の心境や弟殺しについて聞いていく。喜助の告白と庄兵衛の心情を読み取ることが、現代人にも通ずる普遍的なテーマに結びつく点に、この作品の素晴らしさがある。また、「知足」や「安楽死」だけでなく、自己の存在価値、社会とのかかわりなど、様々な切り口から読むことのできる作品である。社会や時代の価値観と自我の葛藤に悩む中学校3年生というこの時期の生徒にとって、自己を見つめる目や感受性を高めるために有効な教材である。現代の普遍的なテーマに結びつく近代小説を読むことで、他の作品でも登場人物の生き方と自身の内面的な課題を関連させて読もうとする態度が育つものと考えられる。また、「高瀬舟」は語りの効果を実感させることができる作品である。「高瀬舟」は三人称の視点で書かれているが、途中で喜助の一人語りも入るので、読者には登場人物双方の姿が浮かび上がるように構成されている。また二人の話の間には、ト書きのように状況を説明したり、情景を描写したりする語りが入り、まるでテレビや映画の時代劇の映像を見ているような感覚を味わうことができる。

指導に当たっては、単元を貫く言語活動として、「『高瀬舟』を読んで批評しよう」という言語活動を設定する。（[関連]〔第3学年〕C 読むこと：言語活動例「ア 物語や小説などを読んで批評すること。」）この作品が多くの人に読み継がれてきたのはなぜなのか、内容、構成や展開、表現の仕方などの視点から、「『高瀬舟』のよさや価値を批評文に書く」という単元のゴールを明確にすることで、必然的な読みを設定し、主体的に読ませたい。表現に着目させて登場人物の心情や考え方・生き方を読み取らせ、表現を根拠に自分の考えをまとめさせる学習活動を通して、生徒の課題である、登場人物の心情を把握し、根拠を明確にしてまとめる力の育成を図りたい。

単元の目標と評価規準

- (1) 作品を読み、描かれた社会や人間の生き方、構成や展開、表現の仕方を批評して、自分の考えを深めようとする。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 表現に着目して登場人物の心情や考え方・生き方を読み取り、社会や人間の生き方について考え、自分の意見をもつことができる。
(読むこと)
- (3) 作品の内容、構成や展開、表現の仕方など、自分なりの視点で作品を批評することができる。
(読むこと)
- (4) 漢語的表現や抽象的な概念を表す語句に注意して読むことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・作品を読み、描かれた社会や人間の生き方、構成や展開、表現の仕方を批評して、自分の考えを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話と語りから、登場人物の心情や考え方・生き方を読み取り、社会や人間の生き方について考え、自分の考えをまとめている。 ・作品の内容、構成や展開、表現の仕方など、自分なりの視点から作品のよさや価値について考え、批評している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢語的表現や抽象的な概念を表す語句の意味や用法に注意して読んでいる。

指導と評価の計画

(全7時間)

次	学習内容(時数)	評 価				
		関	読	言	評 価 規 準	評価方法
一	<ul style="list-style-type: none"> 『高瀬舟』を読んで批評しよう」という単元の目標を確認し、見通しを立てる。 作者、時代背景について概略を理解し、作品を通読しておおまかな内容をとらえ、初発の感想を書く。感想をもとに、学習課題を設定する。 <p style="text-align: right;">(1)</p>	◎			目標を意識し、ノートに初発の感想をまとめている。	ノート
二	<ul style="list-style-type: none"> 注意する語句の意味調べをし、文脈上の意味を確認する。 場面構成、舞台設定や登場人物の設定をとらえる。 <p style="text-align: right;">(1)</p>		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 注意する語句を辞書で調べ、文脈上の語句の意味を理解している。 場面構成、舞台設定や登場人物の設定をとらえている。 	観察 ワークシート 観察 ノート
	<ul style="list-style-type: none"> 会話と語りをもとに、登場人物の心情や考え方・生き方を読み取り、人間の生き方について考える。 喜助の話(島へ行く心境)を聞いたあと、「喜助の頭から毫光が差すように思った」のはなぜか、喜助と庄兵衛の考え方や生き方の違いをとらえ、庄兵衛の心情を読み取る。 <p style="text-align: right;">(1)</p>		◎		語りから、喜助と庄兵衛の考え方や生き方を対比させて喜助の「知足」の生き方をとらえ、喜助に対する庄兵衛の心情を読み取っている。	観察 ノート
	喜助の弟殺しの罪に対する庄兵衛の考えを読み取り、「安楽死」の是非について自分の考えをまとめる。		◎		語りから、喜助の弟殺しの罪に対する庄兵衛の考えを読み取り、喜助は有罪か無罪かについて自分なりの考えをもち、根拠を明確にしてまとめている。	観察 ワークシート
	弟殺しの罪で遠島になることに対する喜助の思いを読み取り、まとめる。		◎		会話と語りから、喜助は弟殺しの罪で遠島になるのに、なぜ「その額は晴れやかで目にはかすかな輝き」があったのか、喜助の思いをとらえ、根拠を明確にしてまとめている。	観察 ワークシート
	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の考え方や生き方に対する自分の考えをまとめる。 語りなど、表現の仕方をとらえ、その工夫や効果について考える。 <p style="text-align: right;">(1)</p>		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の考え方や生き方に対して自分の考えをもち、まとめている。 語りなどの表現の仕方をとらえ、その工夫や効果について考え、まとめている。 	観察 ワークシート 観察 ワークシート
三	内容、構成や展開、表現の仕方などの視点から、作品のよさや価値について自分の考えをまとめ、批評文を書く。		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 作品に描かれた社会や人間の生き方、構成や展開、表現の仕方を批評して自分の考えを深めようとしている。 内容、構成や展開、表現の仕方など、自分なりの視点から、作品のよさや価値について考え、根拠を明確にして批評文を書いている。 <p style="text-align: right;">(1)</p>	観察 ワークシート 批評文

本時の学習

(1) 目標

弟殺しの罪で遠島になることに対する喜助の思いを読み取り、まとめることができる。

(2) 学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
1 本時の目標を確認する。【5分】		
<p>○前時の学習内容を想起し、既習事項の確認をする。</p> <p>(1) 課題設定</p> <p>○本時の目標を確認し、単元の見通しを立てる。</p>	<p>◇本時の目標を確認させ、学習の見通しをもたせる。</p>	
弟殺しの罪で遠島になることに対する喜助の思いを読み取り、まとめよう。		
2 弟殺しの罪で遠島になることに対する喜助の思いを読み取り、まとめる。【33分】		
<p>○庄兵衛が「不思議だ」と感じた、高瀬舟に乗る喜助の様子を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その額は晴れやかで、目にはかすかな輝きがある ・いかにも楽しそう ・役人に対する気兼ねがなかったなら、口笛を吹き始めるとか、鼻歌を歌いだすとかしそう ・遊山舟にでも乗ったような顔 ・島へ行くのを苦にはしていないよう 	<p>◇「不思議だ」と感じた、庄兵衛の目から見た喜助の表情や態度を確認する。</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">〔言語活動の充実〕</p>	
<p>(2) 個人思考 書く活動</p> <p>◎高瀬舟に乗る喜助は弟殺しの罪で遠島になるのに、なぜ「その額は晴れやかで、目にはかすかな輝き」があったのだろうか、理由を考えよう。</p> <p>○弟を殺して遠島になるのに、なぜ喜助の表情は晴れやかなのか、理由を考えてワークシートに書く。</p>	<p>◇文章中の表現（会話と語り）を根拠に喜助の表情が晴れやかな理由を考えさせ、記述させる。フレームワークとなる表現形式を提示する。</p> <p>◇机間指導を行い個別に支援を行う。</p> <p>◆島での生活をこれまでの生活と比較させ、手がかりとなる表現を助言する。</p>	
<p>(3) 集団思考 話し合い</p> <p>○書いたものをもとにグループの中で意見を交流する。</p> <p>○学級全体で意見を交流し、話し合う。</p> <p>◎高瀬舟に乗る喜助は弟殺しの罪で遠島になるのに、なぜ「その額は晴れやかで、目にはかすかな輝き」があったのだろうか。</p>	<p>◇根拠となる表現を挙げながら、自分の考えを発表させる。</p> <p>◇意見交流により他者の意見を知り、自分の考えと比較して自分の考えを深めさせる。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・島に行く方が今までより安定した楽な生活を送ることができるから。 ・遠島になる方が喜助にとって幸せであり、これからの生活に希望が持てるから。 <ul style="list-style-type: none"> *これまで「自分のいい所」がなかった喜助に「居場所」が保障されたから。 *借金に追われていたのに、「二百文の鳥目」をもらい、初めてお金を持つことができたから。二百文を島でする仕事の元手にしようと楽しんでいるから。 *食べられるのは工面のいいときだけだったが、毎日食べることができたから。 <p>(補助発問)</p> <p>喜助の表情が晴れやかだったのは、島に行く方が自分の生活が安定し、これからの生活に希望が持てるからという理由だけだろうか。喜助は弟を殺したことをどう思っているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喜助は弟を殺したことを後悔していないから。 ・目の前で苦しんでいる弟を苦から救うことを選んだ自分の行動は間違っていなかったと、自分の中で整理できていたから。 ・罪を償うことができるから。弟を殺したことを後悔はしていないが、理由はどうあれ弟を殺した罪は償いたいと思っていると思うから。 	<p>◇罪を犯したことに対する裁きが、喜助に居場所やお金, 食事を与え、これまでにない安定をもたらしたことを押さえる。</p> <p>◇「自分の生活の安定」以外に意見が出ない場合は、弟を殺したことをどう思っているかという視点から補助発問を行い、弟を殺したことに対する喜助の思いを考えさせる。</p> <p>◇「喜助は弟を殺したことを後悔していない、自分の行動は間違いはなかったと納得していること」を押さえ、思考を深めさせる。</p>	
--	--	--

3 本時を振り返り、まとめる。【12分】

<p>(4) まとめ 書く活動</p> <p>○意見交流をもとに、弟殺しの罪で遠島になるのに、喜助の表情が晴れやかな理由について、自分の考えをワークシートにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈キーワード〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弟を殺したことを後悔していない。 ・居場所やお金が与えられ、島に行く方が今までより安定した生活を送ることができる。 </div> <p>○本時を振り返り、自己評価をする。</p>	<p>◇机間指導を行い個別に支援を行う。</p> <p>◆全体交流の板書を参考にさせる。再度表現形式を確認する。</p> <p>◇本時を振り返り、自己評価カードに記入させる。</p>	<p>文章中の表現を根拠に、弟殺しの罪で遠島になるのに、喜助の表情が晴れやかな理由について考え、まとめている。(観察, ワークシート)</p>
---	---	---